

防露式密結ロータンク

品番は代表的なものを例示

DT-C180U DT-3810 DT-3810HU DT-3840 DT-3850 DT-3800
DT-C150U DT-3510 DT-3510HU DT-3540 DT-3550 DT-3500

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

水につけたり、水をかけないでください。

ショート・感電の恐れがあります。

(100V電源使用の場合)

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

(100V電源使用の場合)

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

(100V電源使用の場合)

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。

感電・火災の原因になります。(100V電源使用の場合)

注意

陶器は割れものです。

施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。

施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

破損部でケガをしたり、漏水により家財等をぬらす恐れがあります。

バスルーム内など湿気が多い場所には、設置しないでください。

感電・火災の原因となります。(100V電源使用の場合)

交流100V以外では使用しないでください。

感電・火災の原因となります。(100V電源使用の場合)

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

(100V電源使用の場合)

傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・火災の原因となります。(100V電源使用の場合)

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・火災の原因となります。(100V電源使用の場合)

施工後の漏水点検を必ず行ってください。

漏水により家財等をぬらす恐れがあります。

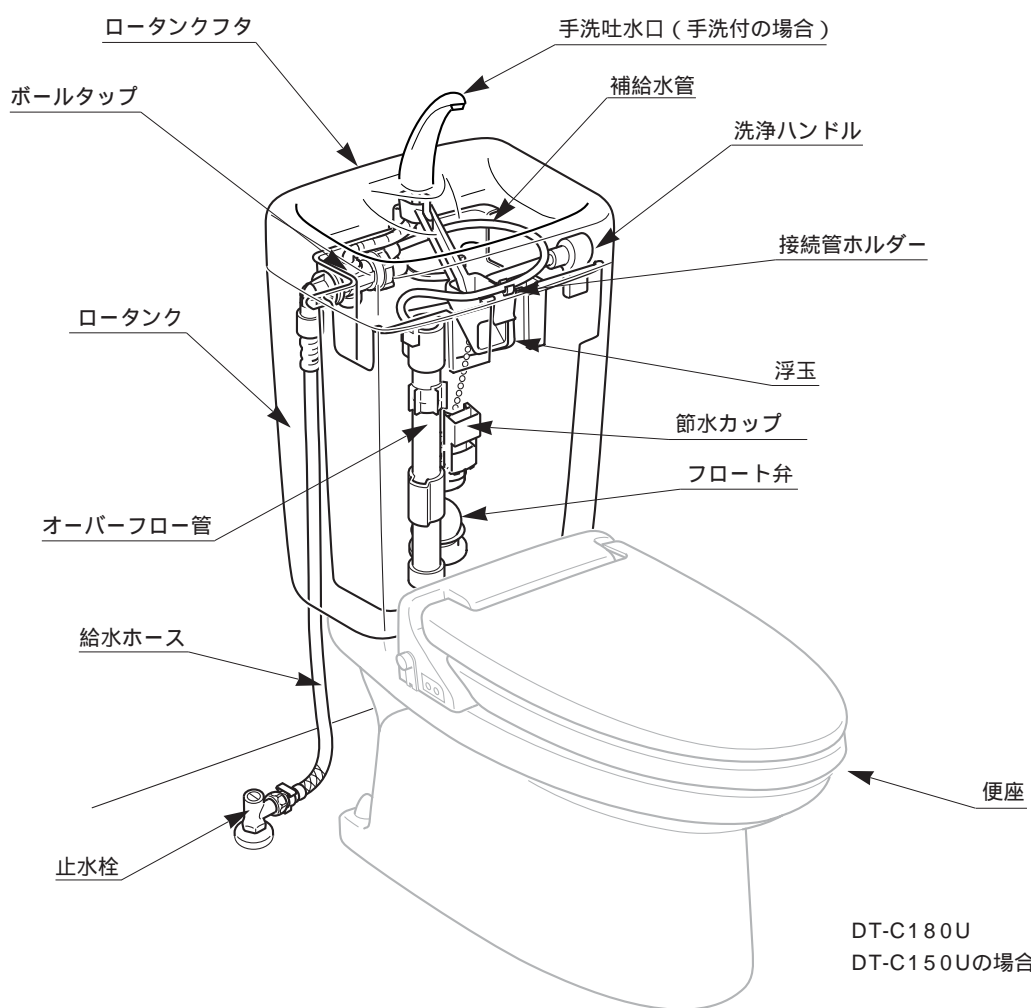
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

凍結破損で漏水し、家財等をぬらす恐れがあります。

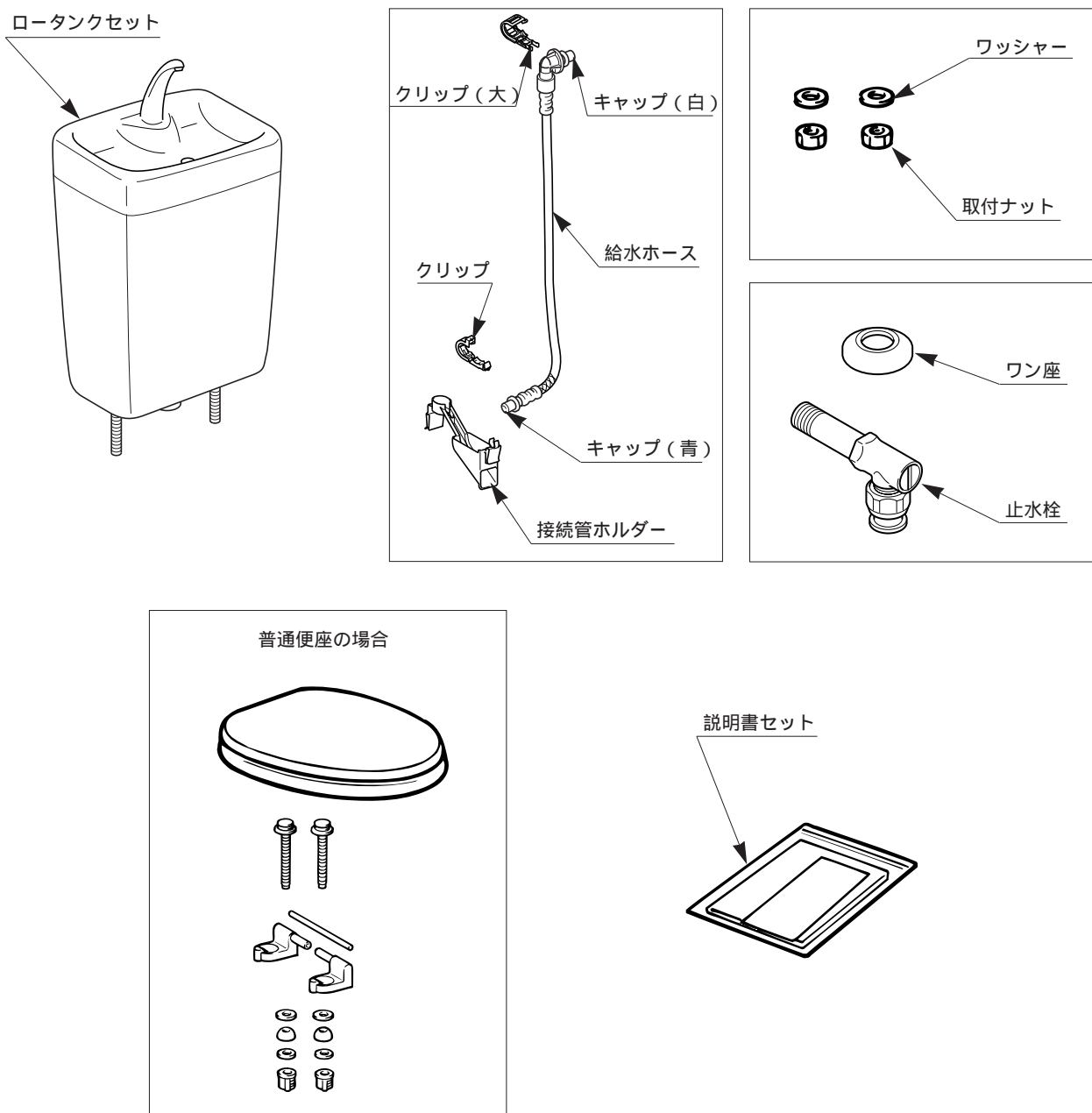
給水ホースと止水栓の接続は確実に行ってください。

袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。

各部のなまえ



部品の確認 (梱包内容を確認してください。)



商品・施工方法についてのお問い合わせは、(株)INAX お客様相談センター商品相談窓口 ナビダイヤル TEL 0570-017173

お客様相談センター商品相談窓口は、平日「9:00~19:00」対応、土日・祝日「10:00~18:00」対応(年末年始、夏期休暇は除く)となります。

ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

注意

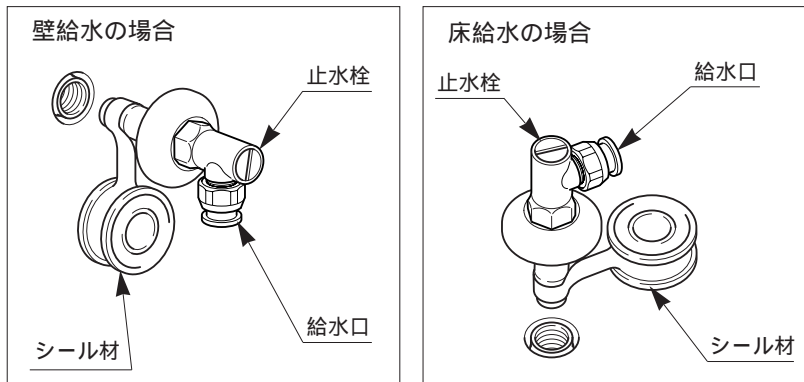
この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
 施工後は必ず試運転を行ってください。
 お客様に必ず本書と取扱説明書や保証書（暖房便座の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施工方法

1 止水栓の取付け

壁・床仕上げ完了後、止水栓を取り付けます。

注意1参照



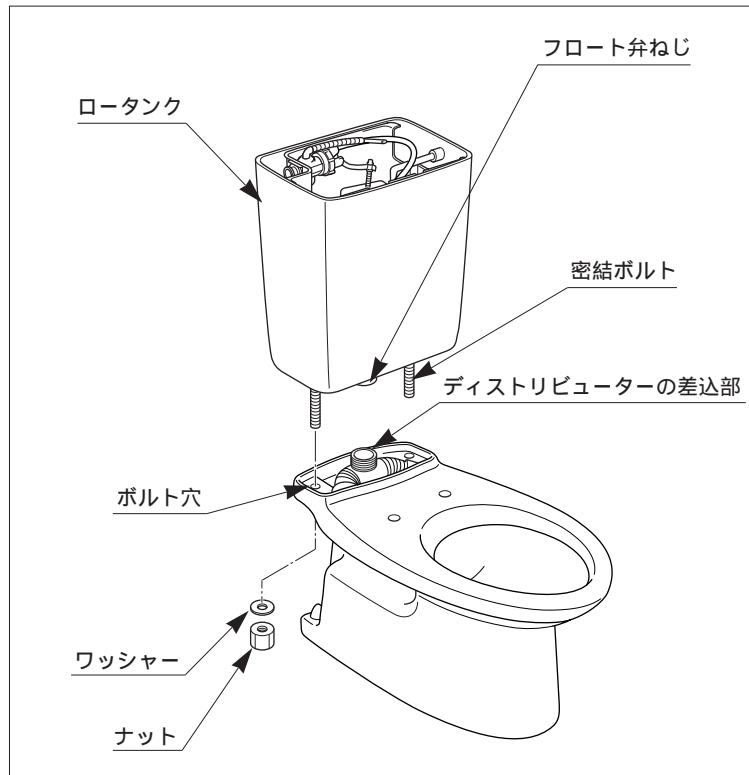
2 ロータンクの取付け

(1) ロータンク下面にある密結ボルト2本と便器のボルト穴を合わせてロータンクを設置します。このときフロート弁ねじの内径部にディストリビューターの差込部が入り込むようにロータンクをおろします。

注意2参照

(2) ワッシャー・ナットでロータンクを固定します。

注意3参照



3 給水ホースの接続（ボールタップ側）

(1) ロータンク上部から給水ホースの先端をロータンク下部の穴に通します。

フレキホースが曲がっている場合、少しならしてまっすぐにすると穴に入りやすくなります。

(2) 給水ホースからキャップ（白）を外します。

(3) ボールタップに給水ホースを差し込み、クリップを奥まで確実に差し込みます。

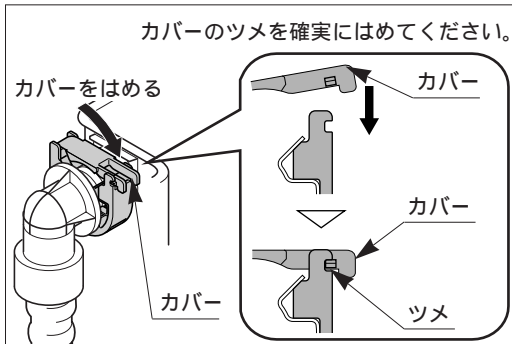
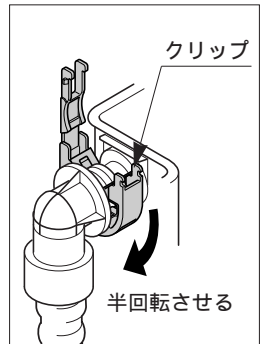
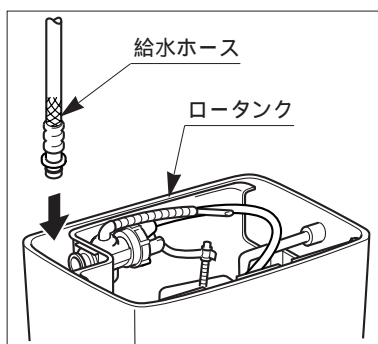
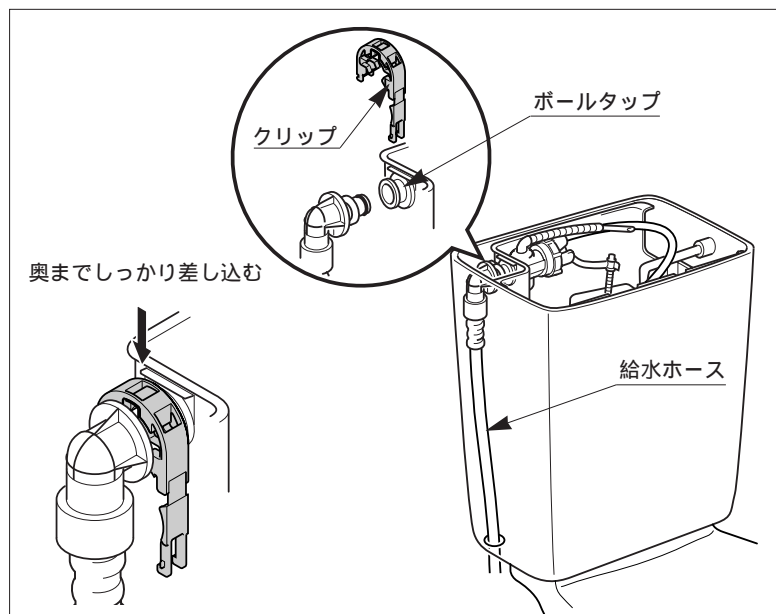
(4) カバーをはめやすいように、クリップを半回転させます。

(5) クリップのカバーをはめ込みます。

取付後に一回転させて、確実にハマっていることを確認してください。

注意4参照

注意5参照

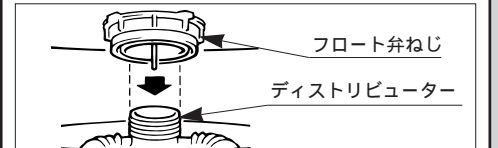


注意 1

止水栓は給水口が便器側を向くように取り付けてください。
 壁給水の場合：下向き
 床給水の場合：便器側向き
 リトイレ便器の場合：便器に同梱の施工説明書参照。
 反対側に向けるとロータンクの給水ホースが接続できなくなります。

注意 2

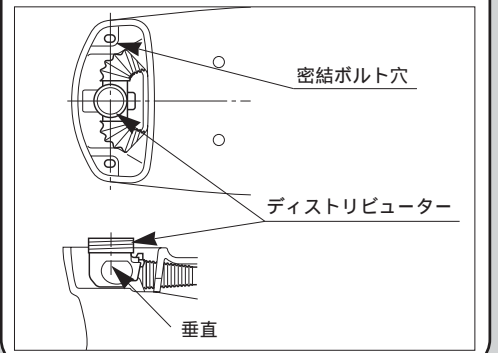
ディストリビューターは、必ずフロート弁ねじの内径部に確実にはめ込んでください。
 漏水の原因になります。



ディストリビューターを確実にはめ込むため以下の点に注意してロータンクを設置してください。

1. ディストリビューターの中心と密結ボルト穴芯が合っている。
2. ディストリビューターが便器上面に対して垂直である。

上記の2点を満たしていない場合は、便器からディストリビューターをいったん取り外し、正しい位置と角度に取り付けなおしてください。



注意 3

ナットの締付けは片利きのないように左右交互に少しづつ行ってください。
 陶器が割れる恐れがあります。
 漏水の原因になります。

注意 4

Oリングを傷つけないように注意してください。
 Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

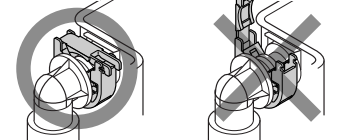
注意 5

クリップのカバーは、確実にはめ込んでください。

きちんとはまっていないとクリップが外れ、漏水事故の原因となることがあります。

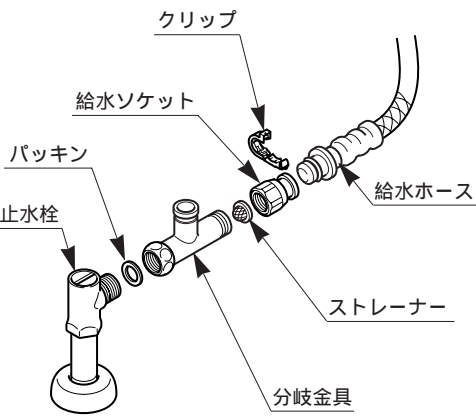
正しい付け方

悪い付け方



注意 6

シャワートイレを取り付ける場合は、シャワートイレに同梱の施工説明書をよくお読みになり、正しく取り付けください。

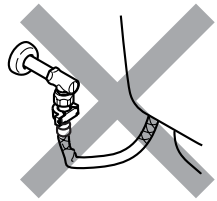


注意 7

Oリングを傷つけないように注意してください。
Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

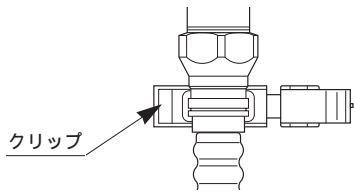
注意 8

給水ホースは鋭角に曲げないでください。
破損して漏水する恐れがあります。



注意 9

クリップは確実にはめ込んでください。
きちんとはまっていないと漏水します。



注意 10

クリップの先端がカチッと音するまではめ込んでください。
きちんとはまっていないと漏水します。

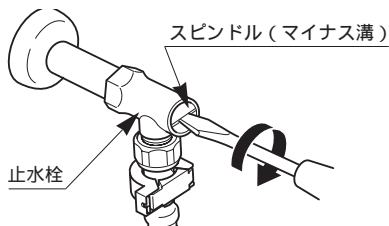
注意 11

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、傷をつける恐れがあります。以下の点に注意してください。

マイナス溝にあったマイナスドライバーを使用してください。

1. 止水栓を閉めておきたい場合は、次の要領で閉めてください。

- (1) はじめに軽く閉めます。
- (2) スピンドルが止まったところから、さらに約1/4回転(目安)ほど締めます。



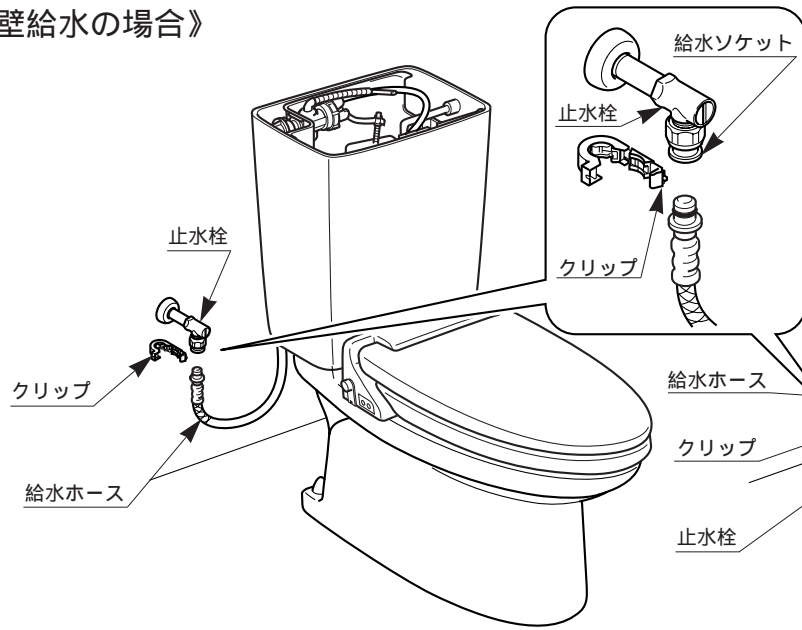
2. 止水栓を全開にする場合は、固着を防ぐため必ずスピンドルを全開の位置から半回転戻しておいてください。

注意 12

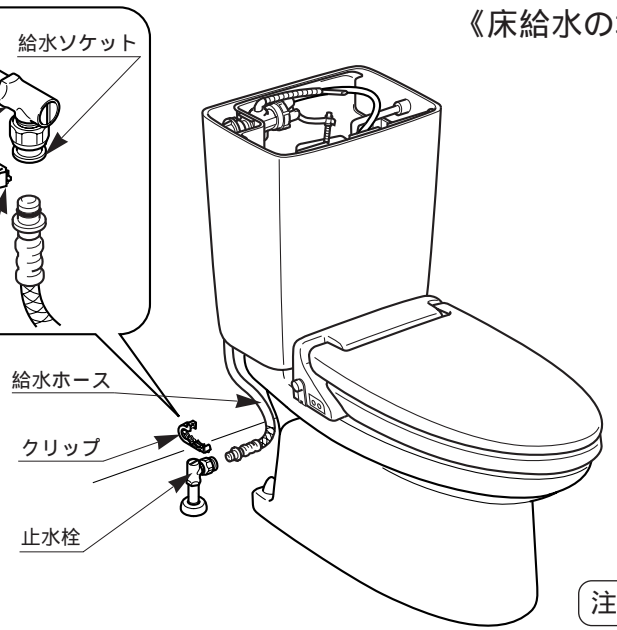
正しい位置に水位が調整されていない場合、オーバーフローによる止水不良や、水量不足による洗浄不良(紙づまり、汚物残り)の原因になります。

4 給水ホースの接続(止水栓側)

《壁給水の場合》



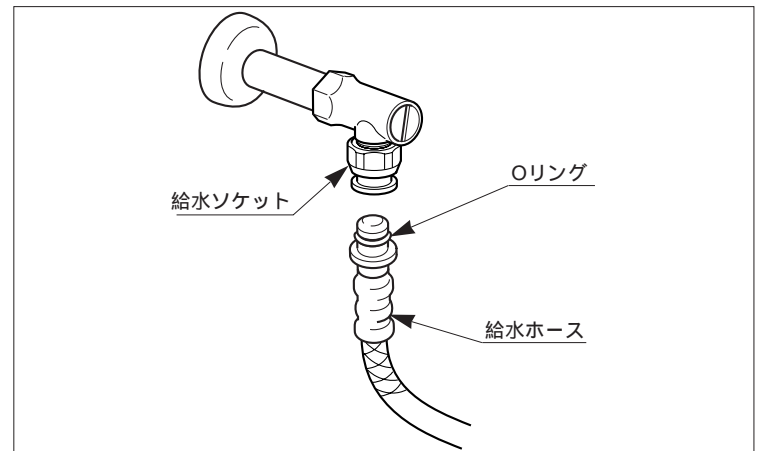
《床給水の場合》



注意6参照

- (1) 給水ホースからキャップ(青)を外します。
- (2) 給水ホースを止水栓の給水ソケットに差し込みます。

注意7参照 注意8参照



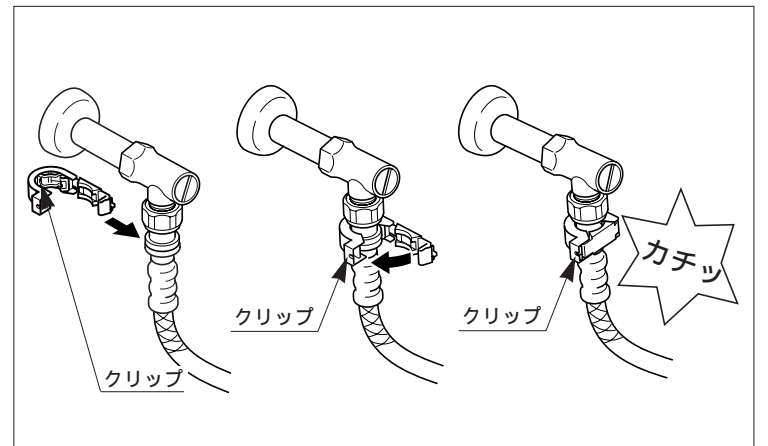
- (2) クリップを本体給水ホースと給水ソケットに差し込みます。

注意9参照

- (3) クリップを折り曲げ、本体給水ホースと給水ソケットを確実に固定します。
取付後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。

注意10参照

クリップを取り外す場合は「水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。」を参照してください。



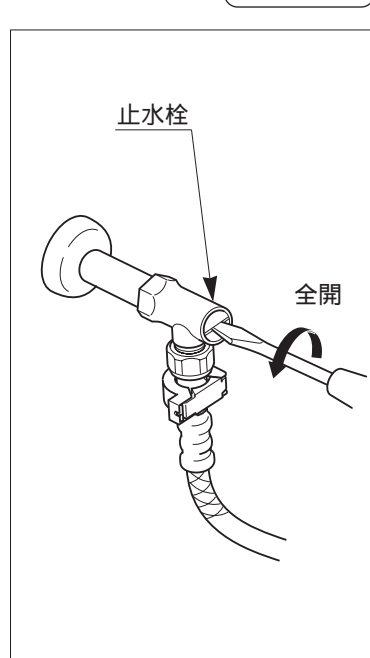
5 止水の確認

- (1) ボールタップの接続管の出口を下に向けます。

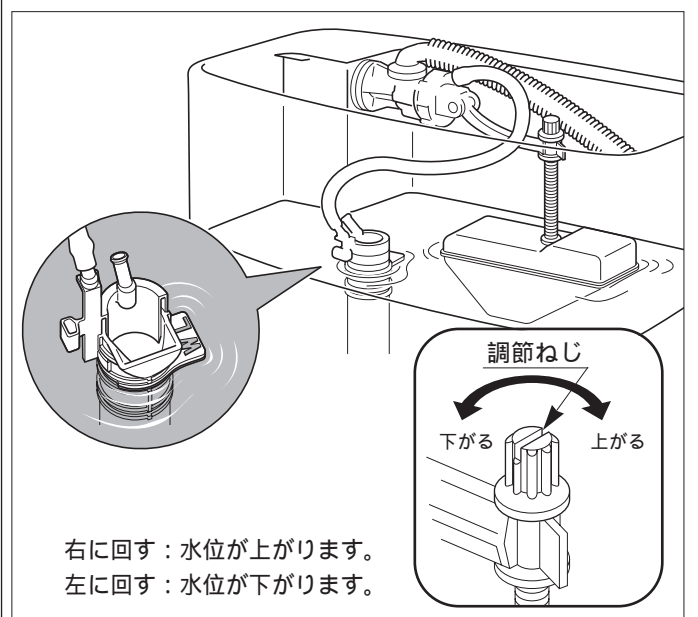


- (2) 止水栓を全開にしてロータンクに通水します。

注意11参照



- (3) ロータンク内の水位(水面)がオーバーフロー管の「W.L」マークに合っていることを確認します。水位が「W.L」マークに合っていない場合は、調節ねじで水位を調節します。(下図参照) 注意12参照



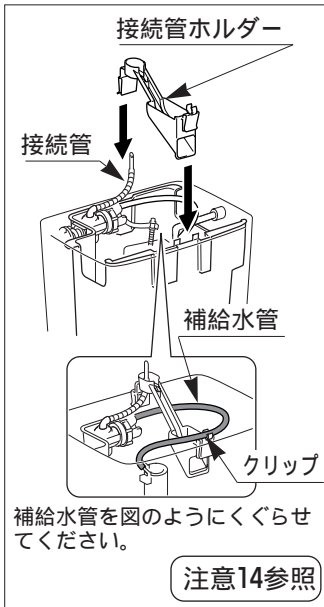
6 ロータンクフタの取付け

ロータンクフタをロータンクに取り付けます。

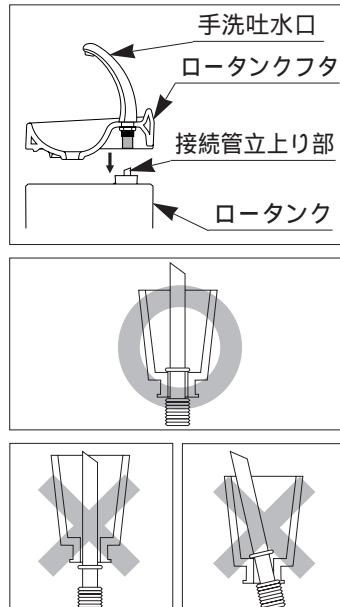
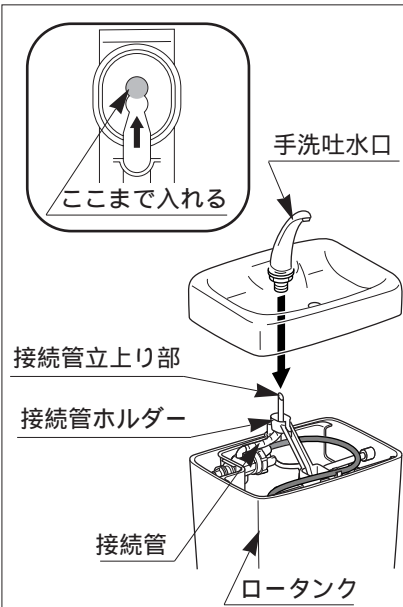
手洗付の場合、手洗吐水口と接続管立上り部を次の要領で確実に差し込んでください。

- (1) 接続管ホルダーに接続管を差し込みます。
- (2) 接続管ホルダーをロータンクに取り付けます。
- (3) 接続管ホルダーのクリップに補給水管を差し込んで固定します。
- (4) 接続管立上り部を手洗吐水口に差し込むようにしてロータンクフタを載せます。

注意13参照



注意14参照

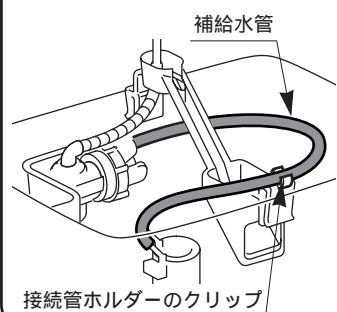


注意 13

ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。
漏水の原因になります。

注意 14

補給水管の取り回しは、図(アミ部)のようにしてください。
補給水管は接続管ホルダーのクリップにしっかりと差し込んでください。
洗浄ハンドルが補給水管に干渉し、止水不良の原因となります。



注意 15

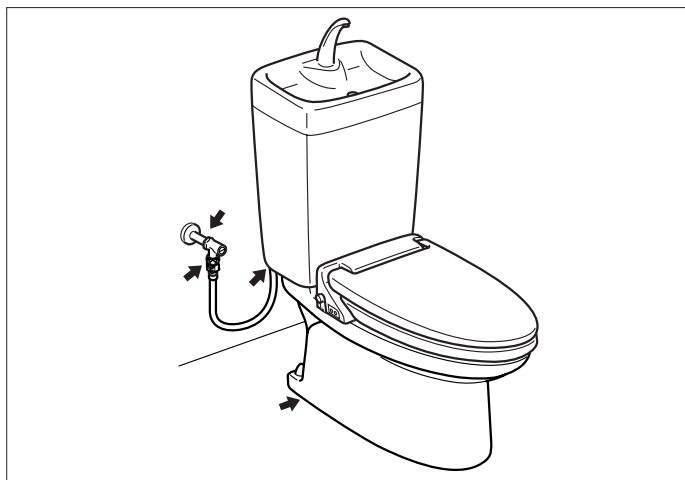
給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

7 便座の取付け

便座の取付けは各施工説明書をご覧ください。

8 水漏れ点検

- (1) 洗浄ハンドルを操作して便器洗浄を数回行い、各接続部に漏水がないことを確認します。
同時にフロート弁の開閉、ボールタップの動作、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。 **注意15参照**
- (2) 便器鉢内に長さ760mmのトイレトーパーを丸めたもの7個を入れ、これが1回の洗浄で排出できることを確認します。
もし、1回で排出できない場合は、フロート弁やその他の内部金具を点検します。



9 溜水面の点検

確認

洗浄ハンドルを操作して数回洗浄した後、便器の溜水面が低下しないことを確認します。

溜水面が低下しない場合は、設定作業は不要です。

溜水面が低下する場合は、便器の性能が十分に得られない可能性があります。下記の設定作業を行ってください。

調整

ロータンクフタを開けます。

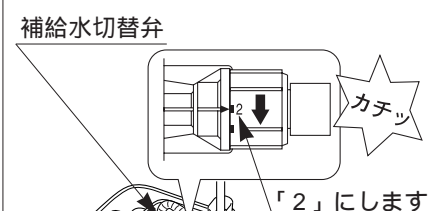
DT-3810・3510、DT-3810HU・3510HUの場合

補給水切替弁を「2」に「カチッ」と感触があるまで回してください。

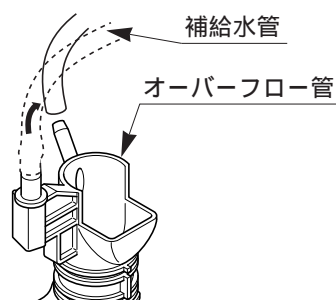
DT-C180U・C150U、DT-3840・3540、DT-3800・3500の場合

補給水管をオーバーフロー管の奥側に接続します。

DT-3810・3510
DT-3810HU・3510HUの場合



DT-C180U・C150U
DT-3840・3540
DT-3800・3500の場合

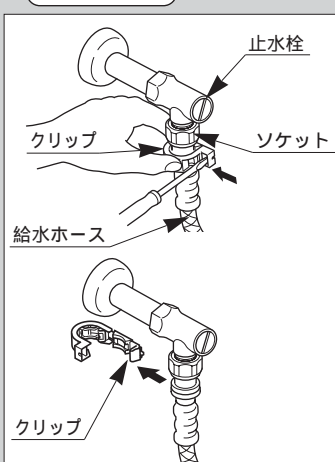


水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

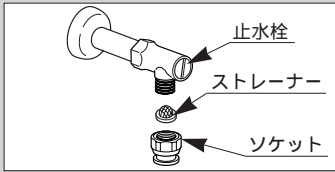
- (1) 止水栓を閉めます。 **注意11参照**

注意11参照

- (2) 給水ホースとソケットを固定しているクリップを指で押さえ、図のようにマイナスドライバーを差し込んで外し、給水ホースをソケットから外します。
このとき、洗面器等を下に置きます。



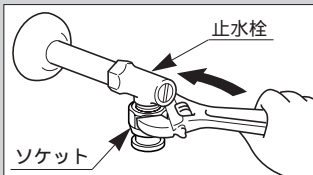
- (3) ソケットを止水栓から取り出し、ストレーナーを取り出して掃除します。



- (4) ストレーナーをソケットに取り付けます。

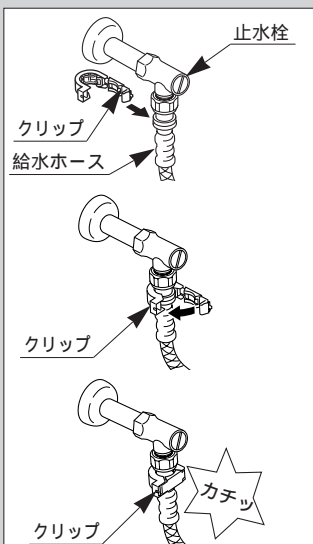


- (5) 止水栓にソケットを取り付けます。
このとき、ソケットをしっかりと締め付けてください。



- (6) 給水ホースをソケットに差し込み、クリップで確実に固定します。
クリップの取付方法は施工方法3 給水ホースの接続をご覧ください。

注意7参照 注意8参照



- (7) クリップをはめ込んで固定します。

- (8) 止水栓を開けます。 **注意11参照**

注意11参照

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

- (1) 止水栓を閉めて、ロータンクへの給水を止めます。 **注意11参照**

注意11参照

- (2) ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。

